

就労機会の確保と新たな産業振興について

桑原 敏彦



【人口減少社会での労働力確保】

Q長野県塩尻市の「スナバ」「KADO」のような市内就労につながる取組について伺います。

A長野県塩尻市の取組は創業支援や事業者支援にとどまらず、共創のまちづくりの場合「シビック・イノベーション」の拠点づくりとして、大変素晴らしい事業であり、若者の地元就労、地元定着の点においても参考になると考えます。

Q就労を受け入れる市内企業のPRを積極的に行い、U・I・Jターンに必要な情報発信を行うことについて伺います。

Aホームページや移住相談会などのほかに「学生のための利根沼田企業ガイド」を作成しました。関係機関と連携し、効果的な情報発信に努めたいと考えます。

Q外国人労働者に沼田市を選んでもらうため、市内企業と連携して外国人技能実習生監理団体を立ち上げることを提案します。

A監理団体は監理支援機関に移

行され、詳細は未定であることから今後の動向を注視します。

【人手不足が進む中での企業の生産性向上の実現】

Q人手不足解消のため、省人化を推進し、支援を行うことについて考えを伺います。

A国の中小企業省力化投資補助金などについて情報発信するとともに、副業人材のマッチング支援やリスキリングを推進し、事業者支援に努めたいと考えます。

Q技術革新や新たな事業創出を生み出すための新たな支援について伺います。

A地域課題解決や新たな産業・事業の創出につなげるためにも、引き続き、民間企業との連携の仕組みを研究したいと考えます。

